

50th
Anniversary



作:上北ふたご

たんぽぽ

高知県高等学校総合体育大会2023が
5月20日から22日に高知県の各会場で行われ



9団体 17個人が優勝しました。

50周年記念事業

第1弾「和太鼓部海外ツアー」

第2弾「高校野球招待試合」



第2弾【高校野球招待試合】

創立50周年記念事業第2弾、帝京高校（東京）との招待野球が6月16日、高知市の春野総合運動公園野球場で行われました。春本校長の開会挨拶の後、両校キャプテンによるペナントの交換、続いて記念の集合写真を撮りました。その後、吉田塾長による始球式でプレイボールとなりました。緊迫した試合が繰り広げられ、無得点のまま迎えた7回表、帝京高校が2点を先取。試合はそのまま2対0で帝京高校が勝利しました。前日まで降り続いた雨もあがり、晴天の下、全校生徒が応援している中で選手たちは素晴らしいプレーを見せてくれました。



創立50周年記念事業

第1弾【和太鼓部オーストラリアツアー】

5月16日、オーストラリアの姉妹校 PLC を訪問。和太鼓部の生徒たちは午前中に練習を行い、午後からは『インフォーマルコンサート』を行いました。5月17日、『PLC シドニー 135 周年記念式典』コンサートがシドニータウンホールで開催されました。オーストラリア国内、また台湾、香港からも姉妹校やパートナー校が参加し、1000人を超える観客の中、本校和太鼓部は最初の演奏チームとして会場を大いに盛り上げました。在シドニー総領事の徳田修一様も鑑賞していただき、温かいメッセージをいただきました。5月18日、2つ目の演奏場所は、シドニーから飛行機で約1時間半のバリナという場所にある姉妹校のイマニエールアングリカンカレッジ (EAC) でした。小学3年生から高校3年生までの生徒が鑑賞し、前列の小学生達は、見よう見まねでリズムに乗って楽しんでいました。EAC 訪問の1番の目的は、昨年の洪水被害からの復興への励ましでした。また、EAC 創立25周年のはなむけにもなり、意味深い訪問となりました。5月19日、EAC から車で約2時間のゴールドコーストにある、姉妹校イマジンエジュケーションオーストラリアを訪問しました。多くの留学生を対象に、サウスポートコミュニティセンターにて、演奏を行いました。この学校には、様々な国の学生が在籍しており、日本文化を紹介する大変良い機会となりました。会場に集まった観客は、『It was a great performance! I love it!』と感動を口々に話していました。中には、太鼓の音が胸に響いたと涙を流す方々もいました。開校50周年記念事業和太鼓オーストラリアツアー最終公演は、ロビーナステイトハイスクールで初の野外ステージとなりました。ウィークス校長はじめ、多くの生徒達や先生方に囲まれ、最高のオーストラリアの日差しのもと、思いっきり演奏することができました。ロビーナ校の和太鼓部とは事前にオンラインで交流会をしていたこともあり、合同演奏では息もぴったり合っていて会場を大いに盛り上げました。その後ワークショップも行い、和太鼓を通して友好の輪を広げることができました。このツアーに際し、たくさんの方々にご支援いただき、明德50周年記念事業第1弾を大成功に収めることができました。



第3弾は10月国際大運動会 第4弾は10月大同窓会（全卒業生対象）です。



創立50周年募金 寄付者芳名 (2023年2月~2023年7月) (敬省略)

- 法人・個人・団体
関口輝道 西田万祐子 高橋聖 細木勝之 有限会社鍋島工芸(4期生 鍋島南雄) 株式会社モンプレジール(11期生 森田公美子) 株式会社尾崎工務店(12期生 尾崎敬三) 株式会社ライフサポート・エガワ(13期生 江川哲生) 丸イ食品株式会社(16期生 大曾根史典) 株式会社遠藤青汁高知センター(19期生 野村勝己) 株式会社ナチュレ(20期生 大曾根一成) ミタニ建設工業株式会社(20期生 三谷高由) 株式会社KGN (25期生 寛裕次郎) 株式会社クノテロス(35期生 遠藤周平) ユニワールド株式会社 株式会社ほっかほっかフーズ 高知日産プリンス販売株式会社 株式会社英光事務機 株式会社東京海上日動パートナーズ中国四国 医療法人清涼会 岸本内科 株式会社三光建設 株式会社ヒロマツ 株式会社ハルノトヨー 有限会社中島出版 秀和電工 増尾塗装 高橋石川 旭電気保安管理事務所 吉永塾 摂津青年部OB会 明德義塾高等学校野球部OB会
- 卒業生
【1期生】佐藤靖久 藤原寿美夫 岡嶋志信 【3期生】岩出昇 竹下雅典 【4期生】大崎美和 山本和章 【6期生】山本陽一 笠間兵庫 【7期生】浜口基行 【8期生】西内功 【9期生】中沢誠 【10期生】下元真之 今津俊英 徳弘和代 【11期生】北口宏樹 【12期生】徳弘誠 【13期生】澁谷功太 【14期生】矢野裕和 【16期生】宮崎一彰 【21期生】高橋一正 【23期生】松岡慧 【39期生】下元優花 【40期生】下元雅菜 【41期生】翁瑤焜 キョウイチサン ソウセンカ 【43期生】ソユジン 【44期生】山藤一颯
- 在校生
浅香凱道 田路颯大 山本ナイジェル 瓜生真斗 寺地隆成 下元悠太郎 津野航 宮本佳



県体壮行式

本校体育館で5月19日、県体壮行式が行われました。式では塾長から激励の挨拶がありました。続いて、和太鼓部の山崎太陽君がソロで応援太鼓を披露し、選手たちの大きな力となる演奏をしてくれました。選手代表女子バレーボール部の郡恋葉さんは「私たちが入学してから2年間、新型コロナウイルスの影響でたくさんの大会が中止になり、様々な規制がかかり自分たちの力を発揮する場を失いました。しかし、私たちが最高学年となった今、コロナウイルスが5類に引き下げられ、これまでの制限が緩和されました。明日から開催される県総体では声を出しての応援が可能となり、今は楽しみでいっぱいです。これまで振り返ってみると、先生や監督に注意された日、チームメイトと互いの思いを交わしあっていた日、試合に負けて悔しい思いをした日など、私たちは数えきれないほどの日々を送ってきました。こうして今乗り越えられたのも、ともに汗を流した仲間、たくさん指導して下さった先生方、私たちの一番そばで応援し見守ってくれた家族がいたからです。多くの方への感謝の気持ちを持ち、対戦相手への敬意を忘れず、これまでの先輩方の思いを胸に明德義塾高校の選手として最後の一球に思いを寄せ、笛が鳴るその瞬間まで諦めず全力でプレーします。必ず高知県代表として四国大会、全国大会への切符を手にして明德に帰ってきます。応援よろしくをお願いします」と決意を述べました。最後に高校野球部が音頭を取りエールを送りました。

県体結果

- 【個人】**
(卓球)
 男子ダブルス 長谷川李博・花見悠斗 準優勝
 都築和仁・瀬川迅風 3位
 横部叶愛・加藤公輝 3位
 男子シングルス 加藤公輝 準優勝
 坂本倫太郎 3位
 藤崎樹 8位
 都築和仁 8位
 齋藤俊太郎 8位
 横部叶愛 8位
 女子ダブルス 中本杏月・瀬島美咲 3位
 渡邊心葉・竹本薫乃 3位
 近藤理央・武井優佳 8位
 女子シングルス 中本杏月 3位
 渡邊心葉 3位
 近藤理央 8位
 瀬島美咲 8位

- 【団体優勝】**
バスケットボール男子
ソフトボール男子
卓球男子
卓球女子
空手男子
相撲
ソフトテニス男子
カヌー学校対抗
野球

- (ソフトテニス)**
男子 丸田涼介・福島涼 準優勝
 三田勇人・木本琉偉 3位
 福島惇・加藤歓基 3位
 小笠原健斗・佐渡宝来 5位
 今西脩真・岡悠太 6位
 片岡征人・福見竜也 7位
 杉原裕夢・西山友晴 8位
女子 湊本愛華・高橋美結 5位
 東葵葉・山崎結衣 6位
 佐藤由希菜・上田椿 7位

- 【個人優勝】**
卓球男子ダブルス 藤元駿・藤崎樹
卓球男子シングルス 藤元駿
卓球女子ダブルス 上田紫乃・水野瑞希
卓球女子シングルス 上田紫乃
空手男子形 内藤新
空手女子形 宮地琉樺
空手女子組手 宮地琉樺

- (カヌー)**
男子カヤックペア 山本凱斗・川口稜斗 準優勝
女子カヤックシングル パククンア 3位
男子カナディアンシングル 下元悠太郎 準優勝
女子カナディアンシングル 小原彩香 準優勝
男子カヤックシングル 川口稜斗 準優勝
 山本凱斗 4位
 堅田一成 5位
 西村亮海 6位

- 相撲** ブヤン
ソフトテニス男子 石川伊吹・遠藤功一
カヌー カヤックフォア
 山本凱斗・川口稜斗・西村亮海・堅田一成
カヌーカナディアン男子シングル 渡邊裕征
カヌーカナディアン男子ペア 渡邊裕征・下元悠太郎
カヌーカナディアン女子シングル 佐田ゆり空

- 男子カヤックペア** 堅田一成・渡邊翼空 4位
(柔道)
100キロ級 野口侑真 準優勝
100キロ超級 藤原丞 準優勝

- 柔道** 81キロ級 スクバット
 90キロ級 アズジャルカル
ウエイトリフティング男子73キロ級 田傑
ウエイトリフティング男子81キロ級 馬一越

- (相撲)**
砂坂有哉 準優勝
(空手)
男子形 長谷川義仁 3位
男子組手 川島祐輝 3位

- 【団体】**
ソフトテニス女子 準優勝
柔道 準優勝
空手女子 準優勝
剣道男子 3位
剣道女子 4位
バレーボール 4位
バスケットボール女子 4位
サッカー 8位
バドミントン女子 2回戦敗退
硬式テニス男子 1回戦敗退

- (剣道)**
男子 大野裕輝 7位
(硬式テニス)
西山響 32位
(バドミントン)
女子ダブルス 恒石美月・プリヤパット 3回戦

県体報告

高知県高等学校総合体育大会 2023
 インターハイ県予選が5月20日～22日に高知県の各会場で行われ、
 9団体17個人が優勝を果たしました。

全国高等学校総合体育大会「翔び立て若き翼 北海道総体 2023」が
 7月22日～8月21日にかけて行われます。
 出場者のみなさん、力を出し切って頑張ってください。

Youは何しに明德へ?

Why did you come to Meitoku?



僕は、父と兄に憧れて同じユニフォームを着て甲子園でプレーしたいと思い明德に入学してきました。野球と勉強に集中できる環境で学べることが良かったです。最初は、朝礼や夕礼のやり方が分からず戸惑いましたが、今は学校にも慣れて楽しく生活ができています。寮生活を通して、親の大変さを身に染みて感じることもできました。これからの目標は、野球で背番号をもらって全国大会で優勝することです。人として成長できる高校生活にしていきたいです。



4年B組
新地海人 (広島県)



4年B組
天野晏慈 (奈良県)

高校進学にあたって、一番厳しい環境でサッカーや寮生活を送り、そのうえで選手権に出場し活躍したいと思ったので明德に入学しました。入学して1週間で全治6カ月の大怪我をしてしまい、1カ月学校に行くことが出来ず、病院でリハビリをしていました。入学前、目標にしていたインターハイや国体には間に合いませんでしたが、選手権には出場できるよう今後もリハビリを頑張っていきたいと思っています。

明德に入学した理由は、卓球が強く、世界へ羽ばたいていいる人がたくさんいるからです。環境も良いし、人間関係もとても良いので明德に入学を決めました。今、入学して2カ月が経ち、やっと女子寮の生活にも馴染めてきました。学校でも友達が増えてうれしいです。今まで親にやってもらっていた洗濯やお風呂掃除、部屋の片づけを自分でやるのはとても大変です。寮に入って親の大変さが分かったこと、それに気づけたことは良かったです。卓球でのこれからの目標は、明德から世界へ羽ばたいてオリンピックで金メダルを取ることです。そのためには、日常の一つひとつの行動や、礼儀、日々の練習が大切なので、6年間細かいたとこから頑張っていきたいです。



1年1組
水元心愛 (東京都)

僕は、明德のソフトテニス部が強いので入学してきました。ソフトテニス部は2年連続で全国3位の成績を残しています。入学したころは右も左も分からない状態で、朝礼や夕礼もいつ行けばいいのかわかりませんでした。今は、すいぶん生活にも慣れて不安がちょっとずつ減ってきています。明德に来てよかったことは、スポーツだけでなく勉強や自立するための知識が学べることです。これからも勉強や部活でいろんなことに挑戦していきたいです。ソフトテニスでは、今年は「全国優勝」を目標に取り組んでいきたいと思っています。



1年1組
市野燦汰 (兵庫県)



4年C組
坂本遼 (高知県)

相撲部が昔から強く、多くの力士を輩出しています。僕も強くなりたいと思って明德に入学しました。僕は今年で4年目になりますが、今でも強くなりたいという気持ちは変わりません。むしろその気持ちももっと強くなりました。明德に入学してキツイと思ったことは、学校が終わってすぐぐっすり寝る中稽古をすることです。明德に来て良かったことは、稽古相手が増えたことです。みんなの仲が良ければ、ライバル意識を持って毎日良い稽古ができています。今の目標は全国大会で入賞することです。そのために手を抜かずに頑張ります。

僕はソフトテニスをするために入学してきました。テニスを始めたきっかけは、兄がテニスをしていて、その影響で僕も同じ地元のテニスクラブに入りました。努力を重ね、結果を残すこともでき、更なる向上を求めて明德義塾に入学しました。入学して周りの人たちの実力差に悩み、僕は自分の行動原理が承認欲求の類だったことに気がつきました。それは他人とのコミュニケーションにおいても同じで、幼少期に比べると人付き合いが少し億劫になってきていると感じています。テニスにおいては、中学校時代に近畿大会には必ず出場できていましたが、明德に入学してからは四国大会への出場を逃してしまったことで、自身の価値について悩んでしまう場面が多々あります。しかし、このまま何も試さないまま明德での生活を終わってしまうことだけは避けたいと考えており、戸惑う場面もまだまだ多いですが、自分が満足できる生活に変えていきたいです。はじめはテニスのために明德に入学しましたが、それを撤回し今の僕は、自身の価値を作り出し、自分で自分のことを「承認」するために明德に入学したと言えます。



4年D組
岡本隼征 (和歌山県)

私が明德に入学した理由は、ソフトボールをするためです。明德のチームはとても熱心な活動をしていて、やりがいや大いに感じ、私も常に日頃から練習に励んでいます。また、監督は、厳しいトレーニングや熱のこもった指導をされたりする時もありますがそれは全て私のため、およびチームのためにされているという事を肌身で感じています。私は監督の下で指導を受けることができ、光栄だと考えています。監督はソフトボールに楽しさを見出してくれるので、試合に負けてしまった際も悔しさを表に出されませんが、ただ悔しいだけでなく、試合の経過を振り返り、打席・守備、ひいては全体を通して改善点がないかどうかを考えてくれます。私も監督を見習って自身の改善点を見つけてようと日々努力しています。できるか・できないかで物事を判断せず、やるか・やらないかの2択で判断して、何事にも臨む姿勢を監督から学んでいます。



4年D組
浮田宏輝 (香川県)



4年特進
森山優花 (大阪府)

女子バスケットボール部に入るために来ました。最近やっと学校に慣れてきて、今は学校が楽しいな一つで感じています。一番戸惑ったのは寮のルールです。まだまだ慣れないことばかりですが、分からないことは先輩が教えてくれます。優しい先輩が多くてうれしいです! (笑) バスケットボールで全国大会に行きます!!



4年特進
チョウレイジ (中国)

日本の国立大学に入るために日本にきました。明德での生活は、徐々に慣れてきました。部活は学習部に所属しています。部活の時間が一日の中で一番楽しいです。疲れた時、自分の目標を思い出すことや先輩たちと話をすることで元気を取り戻すことができます。寮生活は、ルールが厳しくて我慢できない時もありますが、友達と話したりゲームしたりしているので毎日楽しく過ごしています。これからは最初の夢を目指して、友達とも仲良く過ごしていけるよう一生懸命に頑張ります。

私が明德に興味を持ったきっかけは、ほかの学校では絶対に経験できない3年間になると思ったからです。国際的なユースのある学校や留学が出来る学校、留学生がいる学校、スポーツが強い学校などたくさんありますが、一つの学校でそれらを経験できるのはすごいことだと思います。そして実際に明德生活を送ってみると、思っていた以上の衝撃と発見がありました。この学校に普通とか平凡という言葉は当てはまらない。日本語、英語、中国語、フランス語、ベトナム語、タイ語、韓国語...いろんな言葉が飛び交う毎日、スポーツで活躍し常に上を目指している人、海外からの留学生、語学が堪能な日本人、個性的な人など色々な人がいる生活が当たり前の日々になっているのです。そんな明德で3年間を過ごせることは、大きな糧になると思うので、一日一日を大切に頑張っていきたいです。



4年英語
福田民枝 (高知県)

私が明德に入ろうと思った理由は、寮生活と留学生との交流が多いところに心ひかれたからです。地元ではなかなかできない経験がしたいと思い明德にきました。明德に入学してカナダからの留学生と同室になりました。英語やカナダのことを教えてもらったり、逆に教えてあげたりと本当に面白くて楽しいです。もちろん辛いことや大変なこともあります。仲間が頑張っている姿を近くで見ると私も頑張ろうと前向きになります。これからは英語の勉強と部活動にもっと力を入れていきたいです。



4年英語
長町祐花 (香川県)



4年中国語
吉田耀斗 (大阪府)

私はソフトボールをしたいと思い明德に入学しました。2カ月が経って思うことは、明德生として恥じないよう行動に気を付けたいということです。明德に来て良かったことは、ソフトボール部の先輩が優しく色々なことを教えてくれることです。これからは、さらにソフトボールに磨きをかけて、学校生活ではみんなの模範になれるよう心掛けて自分を大きく成長させたいと思っています。

僕が明德に入ったのは、色々な地方から来たプレイヤーと一緒に野球がやりたかったからです。入学して2カ月が経ちましたが、自分でやらないといけないことが多くて大変です。一番大変なのは洗濯です。でも、全国各地から来た友達や先輩と仲良くなったこと、一日の自主練習の回数が増えたことはよかったと思います。これからの目標は、まずレギュラーになってチームを全国へ導きたいです。



1年2組
高阪怜輝 (長崎県)

私は、絵を描くことが好きで、日本の美術大学に入りたいと思い明德に留学してきました。初めはとても怖かったです。日本人と話すことができるだろうかと不安でしたが、今は良い友達もできて楽しいです。寮生活で少し戸惑ったのは、ごみの分別にとっても本気なところ。タイではごみの分別はしません。明德には色々な国から来た学生がいるので日本語や英語、タイから来た先輩とはタイ語で話します。色々な言語を使うことはとても良いことです。もっと日本語を頑張って、美術の大学に入りたいと思います。



4年日本語I
インタウンサップ
チャヤダ (タイ)

私は、柔道をするために明德にきました。柔道部の植垣先生がわざわざモンゴルまで来て、私を明德に誘ってくれました。植垣先生の教え方がとても上手だったので日本で生活する決心をしました。柔道部のみんなは優しく、先生は親切ですから毎日楽しく練習しています。明德は、時間が厳しく決められていますから、クラブや勉強に集中して取り組めるのでとても良い環境だと思います。今の目標は、インターハイでよい試合をすることと日本語を向上させることです。



4年日本語II
スクバット・エンフオチラル (モンゴル)



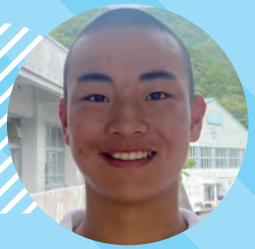
4年日本語I
ジェーピー・サン・アウン・セン (ミャンマー)

私は、日本が好きで、スポーツもしたかったので明德にきました。最初の時期は、この学校が好きではありませんでしたが、今は大好きになりました。この学校は、良い学校です。先輩や先生、日本の友達もとても親切です。今、私は楽しいです。毎日、学校に行くのが楽しいです。私は1年しかこの学校にいませんが、最高の時間を過ごせるよう頑張ります。



4年日本語II
ディンタラナラク・プーミパット (タイ)

僕は中学1年生の時に入学し、今年で4年目になります。明德に進学しようと思った理由は、野球で日本一になりたかったからです。中学野球では、全国ベスト4の悔しい結果に終わりました。高校では、しっかり練習して日本一を取りたいです。生活面では、1、2カ月は慣れない環境で家に帰りたい時期もありました。でも良かったこともあります。それは、地元の友達だけでなく全国の友達でできたことや挨拶などの礼儀を改めて教わったことです。とても良い経験をしていると思います。この6年間で積み上げたものを高校3年生の時に野球にぶつけたいです。



4年A組
高倉夢斗 (大分県)



4年A組
岡健心 (広島県)

僕は明德に野球のことを学びにきました。はじめは何も分からなかった生活もだんだんと慣れてきました。違う地域で育ってきた人たちが共同生活をするのは、考え方が合わないことが多々あると思います。その時は、相手の気持ちを理解し合うことが大事だと思うようになりました。部活での目標は、練習を一生懸命して、無駄な日がないように悔いを残さない3年間にしていきたいです。勉強面でも赤点を取らないよう頑張ります。



Glen Spencer

出身地 Australia
English (Native teacher)

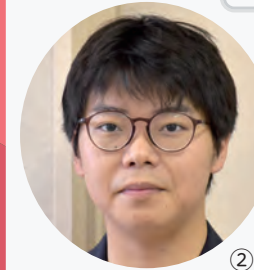
- ① I would travel the world and buy a little cottage in each continent.
- ② My favorite book is "The Last of the Mohicans", by James Fenimore cooper. (The movie was good as well 😊)
- ③ Everywhere! But next I would like to go to Italy.
- ④ For my last meal, I would have a giant Hitsumabushi.
- ⑤ My fondest memories are from teachers who were passionate about their subjects. I particularly remember my art, history and English teachers; their passion inspired me to be excited about education!
- ⑥ It can feel like there is an unclimbable mountain in front of you. Take each day as it comes; if you stumble, pick yourself up again and keep putting one foot in front of the other. Before you know it, you will look back and realize you have achieved more than you could have dreamed.



横田 桃香

出身地 香川県
竜キャンパス / 日本語

- ① 実家のリフォームをして、余った分は貯金します。
- ② [TOKYO MER] です。最近、映画館で見てきました。とても感動しました。
- ③ 北海道に行きたいです。おいしいものをたくさん食べたいし、スキーがしたいです。
- ④ やっぱ、お寿司ですね。
- ⑤ 中学生の時は生徒会に部活動に毎日忙しかったですが、とても充実していました。高校では、体育祭や文化祭など、どの行事も楽しかったですが、やっぱり部活動です。仲間と同じ目標に向かって、練習に打ち込んだ日々が一番の思い出です。
- ⑥ 明德での生活は大変なことも多いと思いますが、卒業して思い返してみた時に笑い話になることもあると思います。置かれた環境で楽しく生活して、思い出をたくさん作ってください。



長谷川 幹人

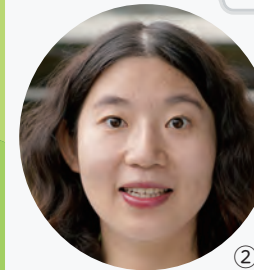
出身地 三重県
総合 / 理科

- ① 家電を全て買い換える。バイクを買う。友人とひたすらに呑み歩く。
- ② 本: 「オリジン」「デセプションポイント」などのダン・ブラウン著の小説「樽とタタン」(中島京子)「下町ロケット」(池井戸潤)「表参道のセブ犬とカバーニヤ要塞の野良犬」(若林正恭) 映画: 「シンウルトラマン」「超高速! 参勤交代」「シャーロックホームズ シャドウゲーム」「センターオブジアース 2」「マーベル」シリーズ全般
- ③ 沖縄、福岡の屋台街などの食べ物とお酒が美味しい場所。
- ④ 製麺所蔵木のつけ麺
- ⑤ 中学校はドがつくほどの田舎だったので、友人たちと山や田んぼ道を走り回ったりと、小学生みたいな事をしてた覚えがあります。高校では2年の文化祭で、クラスの出し物として巨大トランプを作ってギネスに申請をした事が最も印象に残っています。
- ⑥ 「やる気を出せ」や「頑張れ」とは言わないので、やらなければいけない事・やっばいいけない事だけは意識しましょう。

新しい先生紹介します

今年度も新しい先生が仲間入り。 アンケートに答えていただく形で、 自己紹介をお願いしました。

- ① 宝くじで一等が当たったら何に使う
- ② 好きな本や映画は何
- ③ 旅行するならどこへ行きたい
- ④ 最後の晩餐に食べたいものは
- ⑤ 自身の中学時代、高校時代の思い出
- ⑥ 明徳生にひと言



譚 夢莎

出身地 中国
竜キャンパス / 日本語

- ① ビルを買って、家賃収入で自由に生きる。
 - ② ドストエフスキー『罪と罰』 遠藤周作『深い河』
- 大学は文学部なので、色んな国の作家の作品を拝読しましたが、最も自分の世界観に衝撃を与えたのはこの2冊でした。この世にはあらゆる人間のもつ複雑な人生のすべてを包み入れる存在があることを知りました。
- ③ ノルウェーとニュージーランド
 - ④ 「麦蝦」という中国地元のめん料理
 - ⑤ 中高とも進学校で部活もなし、教室で朝から晩まで勉強漬けの毎日でした。(ちなみに、中学は男女とも全員短髪必須) 一番楽しい思い出は夕食後友達とグラウンドで散歩しながらおしゃべり
 - ⑥ 一番辛いことは寮生毎朝の地獄 800メートルランニング(雨降るように毎日祈ってました)
 - ⑦ 自分の周りの小さな世界に囚われず、視野を広げて、世の中の格差についてもっと知りましょう。不満や愚痴だけを吐くのではなく、今いる環境の中で自分は何ができるかを考え、ルールを守って初めて自由になります。



井関 楓也

出身地 新潟県
両キャンパス / 美術

- ① 1/3 を自分の両親と妻の両親へ。1/3 を自由に使う。(旅行など) 1/3 を投資信託などで運用してもらおう。
- ② 「生きてるだけで、愛。」(映画) 演技力に心打たれました。エンディング曲へ入るタイミングが絶妙でした。天皇の料理番(ドラマ) これは、ぜひ見ていただきたいドラマです。毎回泣けるドラマってあるんだと驚きました。サンクチュアリ - 聖域 - (Netflix) 製作者側の、本気を感じました。言葉や会話など簡単な表現方法に頼らずに表現されていて、見てて面白かったです。
- ③ パリです。パリには地下世界があり、アート集団がその地下世界の壁にたくさんのペイントを描いているそうです。
- ④ 世界各国の美味しい果物
- ⑤ 高校時代。(雪国あるあるな思い出) 学校終わりに、校内敷地内で雪合戦途中、雪の中にスマホを落として失くしました。季節が移り、雪が溶け発見しました。
- ⑥ 心が落ち込んでいる時は、絵を描いてみてください。心が高まっている時も、絵を描いてみてください。美術の扉はいつも開かれています。



加藤 和真

出身地 千葉県
日本語コース / 日本語

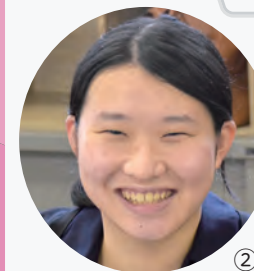
- ① 当たった分、宝くじを買います。
- ② 本: 朝井リョウ『何者』『風と共にゆとりぬ』 登場人物の視点の持たせ方とワードセンスの天才です。中・高生の皆さんに特に共感してもらえ作品だと思います。
- ③ 宇宙。地球に収まりたくないです。
- ④ 地元のラーメン屋「貴生」のホルモンラーメンです。ホルモン大好きです。
- ⑤ 空手一色です。(笑) 試合のために、20kg増やしたこともありました。一応、勉強も頑張りました。
- ⑥ 人間、「逆境」であったり、「正念場」であったりでどれだけ踏ん張れるかで大きな成長があると思います。大変なことも多い学校生活であると思いますが、お互い頑張りましょう。あと、優しくしてください。本当に優しくしてください。



Denin Lee

出身地 Jakarta, Indonesia
国際事務

- ① I often think about this 😊
- If I won first prize I would divide the winning money into:
- 30% various investments and new businesses
 - 30% for buying properties around the world
 - 20% for family and charities
 - 10% for everyday living
 - 10% for travelling, shopping and eating
- ② Favorite book: Harry Potter Favorite movie: All Ghibli Movies
 - ③ I would love to go to Switzerland and Italy in Europe; and also explore more of Russia and Mongolia!
 - ④ Rice, yakiniku, Korean spicy tofu soup, fried chicken and end with cake and ice cream.
 - ⑤ I enjoyed playing basketball, singing in the school choir and spending time with friends. After school, I often visited friends' houses where we just talked, ate and read manga. I also remember, when it was raining season, our school was flooded and we had no electricity. We studied in the dark with water up to our ankle.
 - ⑥ Please enjoy as much as possible; even though it is hard to be far from family and friends, your experience in Meitoku is a once in a lifetime experience that you will never forget. Try your best in your studies, put your heart in your chosen club, and enjoy the school's surrounding nature.



徳弘 明寿香

出身地 高知県
総合 / 国語

- ① 趣味に使い、家族や友達と旅行して残りは貯金します。
- ② 本... 辻村深月さんの「サクラ咲く」共感できる部分もあり、また、大学受験でも役にたった本だったので思い出に残っています。映画... 「レインツリーの国」一冊の本から繋がる新たな出会いから物語が始まります。とても素敵な物語です。原作もあるのでぜひ読んでみてください。
- ③ 韓国に行って本場の韓国料理を堪能したいです。
- ④ お寿司ですかね...。嫌いな食べ物は特にないので迷います(笑)
- ⑤ 体育祭や文化祭、修学旅行と楽しかった思い出ばかりですが、一番思い出すのは委員会活動ですね。皆と協力してパンフレットやカードと形になるものが残せて凄く嬉しかったのを覚えています。
- ⑥ 3年間、あるいは6年間しんどい思いを沢山すると思います。しかし、卒業して思い返してみるとその思いがある時ああいう思いをしても頑張ってた良かったなと思えるようになると思います。将来の夢に向かってぜひ頑張ってください。



遠藤 有菜

出身地 新潟県
竜キャンパス / 養護

- ① 車とお家 残りは貯金します
 - ② 「余命 1か月の花嫁」ノンフィクションのお話で何回見ても感動します。
 - ③ ニューカレドニア
- きれいな海の中でのんびりしたいです。
- ④ 地元のお寿司
 - ⑤ 養護教諭になりたいと思うきっかけとなった先生に出会えたことです! 今でも人との繋がりは大切だな~と思います。
 - ⑥ 小さな幸せと周りの人たちを大切に、一緒に明徳生活を楽しみましょう☆
- 何かあった時には、いつでも保健室に来てください!



砂入 雅之

出身地 広島県
総務部

- ① 家族と共に旅行したい。
 - ② 禅ゴルフ ベンホーガンモダンゴルフ タイガーウッズ私のゴルフ論
- ハッピーエンドな映画全て
- ③ 冬の北海道 海外ならハワイ
 - ④ 鶏の唐揚げ
 - ⑤ ゴルフをして色々な経験、楽しかった事も辛かったことも
 - ⑥ 日々全力で学び、鍛錬し、遊び、食べる。
- 一生の友達、これからしたい事を見つけて下さい。

わたしのイチオシ!



星の王子さま

(著:サンテグジュペリ/集英社)

6年特進I/ユンボンソ(韓国出身)

「星の王子さま」を読んで、この物語の中で一番重要なのは王子さまとバラの花の関係性だと思いました。王子さまとバラとの出会いは、親と赤ちゃんとの関係にも似ているように感じました。親にとっては全てが初めてで、赤ちゃんの泣き声に反応してあげなくてはならず、何が正解なのか分からずに戸惑ってばかりかもしれません。きっと王子さまも初めて出会うバラに対してそんな心境だったのでしょう。戸惑いながらも一生懸命に美しい気まぐれなバラの世話をします。

しかし、王子さまは、バラの花と言い争いをしたことがきっかけで、自分の星を出てほかの星を訪ねます。そこで出会ったのは彼とは価値観の違う大人達でした。大人はしばしば理性的かつ合理的に考えて物事を判断します。そうすることで社会生活がうまくできると信じるからです。しかし、それが行き過ぎると重要なことを見落としてしまいます。

王子さまにとって大事なことを教えてくれたのは地球で出会ったきつねです。きつねは、「大切なものは、目に見えない」と話してくれました。王子さまが愛情をかけ世話をしたバラは、自分にとって特別な愛おしい存在だったのだと気づきます。私もこの本を読んで、重要なものは存在そのものがくれる幸せて、それを忘れては何の意味もないと思いました。

この本は、子どもから大人まで何度も繰り返し読むことができる物語です。みなさんもぜひ読んでみてください。



未来

(著:湊かなえ/双葉社)

4年中国語/青野樹理(愛媛県出身)

あなたは、自分の未来を知りたいですか?未来を知ったとしてそれは幸せですか?

主人公の章子は、10歳の春、父をガンで亡くします。そんな時、1通の手紙が届きます。

差出人は、30歳の自分です。そこには「胸を張って幸せだと言え」と書いてありました。

しかし、父を亡くしてからの章子の日々は、信じられないほど壊れていくのです。手紙の差出人は誰なのか。そして、章子を選ぶ道とは。

20年後の自分を想像してみてください。どのような仕事に就いてどのような家庭を築いているのでしょうか?どんなこともその時が来るまで分かりません。でも、もし未来を知ることができるなら知りたいと思いますか?例え、今がどんなに辛くても、未来に幸せが待っていると知れば苦しいことも乗り越えられますか?私たちは未来を知ることではできません。しかし、その未来のために努力することはできます。

この本は、自分の未来について考え直すきっかけになると思います。ぜひ一度手に取って読んでみてください。



神の子どもたちはみな踊る

(著:村上春樹/新潮社)

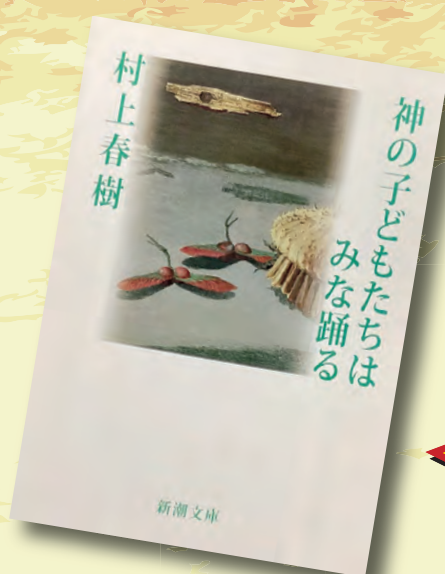
5年特進II/王雨欣(中国出身)

「夜が明けてあたりが明るくなり、その光の中で愛する人々をしっかりと抱きしめる」

この本には6つの短編が収められています。全作品に共通しているのは、1995年に起きた阪神淡路大震災がどの小説の中でも関係してくるところです。震災後の社会不安は人々に少なからず影響を与えます。この本の中でもそれぞれの登場人物は、みな何かしら悩みを抱えています。そして、さまざまなことから人生の真実を目のあたりにし、愛、生き方と孤独について深く考えるようになります。

人はどんなに逃げ出したくても自分自身からは逃れられません。日に日に募る虚しさ、孤独な空気、不穏な政治ニュース、社会制度への疑問、やがて足元の地面さえも信じられなくなって崩れてしまいます。ロマン・ロランは、「この世には、ただ一つの英雄的行為がある。それは、世の中をありのままに見て愛することだ」と言いました。抜け殻となって幻滅してもすべてが崩れても、必ず次の日の空は明けます。人の心に生まれる愛と勇気は、孤独と共存してともに躍ります。私が考える「躍り」とは、生きるためのさまざまな所作の一つです。

6編の小説はそれぞれに完結していますが、読み進めるほど心に希望の光りが差ってきます。皆さんも、この本を読んで、ぜひ人生の意味について考えてみてください。



少女

(著:湊かなえ/双葉社)

6年C組/山本凱斗さん(高知県出身)

「親友の自殺を目撃したことがある」

由紀と敦子にそう言ったのは、転校生の紫織だった。彼女の告白を聞いて、自分なら死体ではなく、人が死ぬ瞬間を見てみたいかと思った由紀。死体を見たら死を悟ることができ、強い自分になれるのではないかと考えた敦子。二人とも相手には告げずに、それぞれ老人ホームと小児科病棟に行く。死の瞬間に立ち会うために。

これは、そんな高校二年生の少女たちの衝撃的な夏休みを描いた長編ミステリー小説です。この小説は由紀と敦子の視点が、それぞれの場面に交互に描かれており、二人の心理描写や行動がとても細かく表現されています。一度読み始めたらページをめくる手が止まりません。

果たして由紀と敦子は死の瞬間に立ち合うことができるのか…気になった人はぜひ手に取って読んでみてください。



112日間のママ

(著:清水健/小学館)

3年1組/立川釉菜さん(広島県出身)

この本は、著者清水健さんの奥さんの奈緒さんが、癌になり闘病生活を乗り越えていく実話です。

あるテレビ番組で知り合い結婚をして妊娠をしたのですが、奈緒さんが癌になってから生活が変わってきます。癌を取り除くには手術しかないと言われてました。手術は無事に成功して、出産もできました。

その後検査をしたら、癌が転移していました。また辛い闘病生活が始まりますが、奈緒さんは今まで一言も弱音を吐いたことがありませんでした。

奈緒さんは、なぜ弱音を吐かなかったのでしょうか?

すごく考えさせられる本なので読んでみてください。



空飛ぶ広報室

(著:有川浩/幻冬舎)

教員/山本航太郎(高知県出身)

ブルーインパルスに搭乗するという夢を果たす直前に交通事故により、パイロット罷免となった航空自衛隊の元・エースパイロット空井大祐。彼の異動した先は、防衛省航空幕僚監部広報室。そこにいたのは、室長の鷲坂、ベテランの比嘉をはじめ、ひと癖もふた癖もある先輩たちだった。鷲坂の命により、TVディレクター稲葉のアテンドをすることになった空井。稲葉は元警察担当記者で、スクープを狙ってガツガツしている若手、加えてかなりの自衛隊嫌い。そんな彼女に自衛隊を理解してもらおうと様々な「商品」を提供しながら、広報官のイロハを学んでいく空井の様子が描かれた一冊です。

中学生のときから何度も読んでいます。自衛隊の知識が全くない人でも、稲葉と一緒に理解していくことができるので、手軽に読めます。ぜひ読んでみてください。



ママがもうこの世界にいなくても

(著:遠藤和/小学館)

5年中国語/近藤理央(愛知県出身)

1歳の娘と夫に遺した「愛」の記録。

21歳でステージIVの大腸がんを宣告され、それでも22歳で結婚し、子どもを産むために抗がん剤治療をやめ命がけて出産、そして、24歳で亡くなった遠藤和さん自身が書いた生死を見つめた実際の日記です。

「ママになる」という夢を叶えるために前向きに綴られている反面、辛いことや苦しいことの音も綴られた日記に心を打たれ、涙なしには読めませんでした。その中で、生きていること、大切な人と過ごせること、毎日当たり前で過ぎて好きなことややりたいことができるということは、素晴らしいと思いました。今の状況が当たり前ではなくて、一日一日を大切にやり切ることが大事ということを考えさせられました。全てをあらためて思い返されると思います。ぜひたくさんの人に読んでほしい本です。



保護者学級

4年ぶりの保護者学級が6月24日、両キャンパスで行われました。

各地から来られた保護者の方々は、授業参観の後、保護者研修会のため堂ノ浦キャンパス体育館に移動しました。

10時50分から行われた特別講義では、脊本校長のあいさつの後、公益財団法人モラロジー道德教育生涯学習講師、田口秀樹先生より「知恩・感恩・報恩」と題して、ご自身の中高時代、お子様が明德に入学した時のこと、ご両親、ご兄弟についてのお話を聞くことができました。

また、「今年創立50周年にあたり、明德の歴史を知り、ただ子どもたちを預けるだけでなく学校全体のために何が出来るのかを考えることが子どものため、最終的には自分のためになります。そして祖先が築いてくれたバトンを少しでも磨いて後世に引き継いでいくためにも、自分の両親や、普段気づきにくい身近な人への感謝の気持ちを持って恩返ししていくことが大切です」と述べられました。

午後からは、担任との面談を通して子どもたちの普段の様子を知ることができました。中学1年生の保護者の参加が多く、特に寮生は久しぶりに会えたこともあり生徒みんながとても嬉しそうでした。



令和5年度中学・高等学校入学式

令和5年度中学・高等学校入学式が4月10日に堂ノ浦キャンパス体育館で行われ、306人の新しい仲間を迎えました。

新入生、保護者、在校生が参加するのは3年ぶりです。

理事長 石元徳太郎

「本日は公私共々ご多用の中を各界名士の方々のご臨席を賜りまして、生徒、保護者共々希望に満ちあふれる入学式を挙行できますことを厚く御礼申し上げます。全国よりはるばるとご来校いただきました新入生の保護者の皆様方には、かわいいご子弟の将来のために、ご期待とご信頼をもって本校をお選びいただきましたことに深い敬意を表しますとともに、心からお祝いを申し上げます。また同時に私どもの大きな責任を感じる次第であります。本日よりご両親様に替わりまして教職員一同一丸となりましてご期待に添うよう全力を尽くす覚悟でございます。新入寮生諸君は今日よりご両親の元を離れて自主独立の生活に入ります。寂しいことや悲しいことや暗い気持ちに落ち込むこともあると思います。そのときは一人で苦しまず上級生や先生に打ち明けて相談してください。そして、心の転換をして強く明るく正しく将来に大きな希望を持って立ち上がってください。(省略)」

新入生代表 青井優空

「本日、春の良き日に、たくさんの方々に見守られ、明德義塾中学・高等学校の入学式を迎えることができたことに大変感謝しております。今はこれから始まる新しい学校生活に喜びと期待で胸がいっぱいです。何事にも前向きにチャレンジし、勉強とクラブ活動の両立ができるように頑張りたいと思います。私たち新入生は、それぞれ目標と夢を持って入学してきました。目標を達成するため、夢をつかむためには、自分ひとりの力では叶えることはできません。これから、素直で思いやりのある人間性を身につけ、周りの方に応援していただけるよう頑張りますので、先生方、先輩方、どうぞご指導のほどよろしくお願いたします。最後になりましたが、これまで大切に育ててくれた家族や、お世話になった多くの方々、そして、これからたくさんお世話になり、応援していただく方への「感謝の気持ち」を常に忘れず、明德生としての自覚を持ち、全力で頑張りと、成長していくことを誓います。(省略)」



第1回教職員モラロジー研修会

「師を持つ人はぶれない！一己を師とせざれ」

第1回教職員モラロジー研修会が7月4日に堂ノ浦キャンパス研修会館で行われ、講師にはモラロジー道德教育財団生涯学習センター特任教授、大久保俊輝講師をお招きしました。

大久保講師は、教鞭をとられていた時のことやご家庭での出来事などのご自身の実践されたお話や私たちがどう生徒たちと向き合うかを教えてくれました。

また、表題にもあるように、師を持つ人はぶれない。常に師を持つこと。そして師の偉大さは弟子が証明する。明德を存続させていくには、自分以上の人材を育てていかなければいけない。自分以上の人材にするためには、まず自分の中の魅力を発見し、それを焙煎、発酵させる。あなりたいと思われる自分になることで後継者を育てることに繋がっていく。私たちは未来の仕事をしているのだと教えてくれました。

声も大きく、明るくユーモアいっぱいのお話は、私たちに元気と勇気を与えてくれました。



明德祭

5月13日、明德神社・明德慰霊塔にて明德祭が行われました。

明德祭は、私たちが日頃よりお守りいただいている神様に対し、今後も無事に過ごせるよう安全祈願をするお祭りです。

また、創立者や学校設立にご尽力いただいた先人の御霊、在校中や卒業後に事故や病気のため亡くなられた方への慰霊祭でもあります。



須崎ロータリークラブより「ニューモラル」寄贈

須崎ロータリークラブ(2022年-2023年)会長平岡敬三様・幹事明神謙三様が来校され、道徳を考える月刊誌「ニューモラル」(モラロジー道德教育財団)を1,000部、寄贈していただきました。生徒に配布し「一人ひとりの道徳性の向上」に努め、活用させていただきます。



通学バス避難訓練

通学生の避難訓練が6月1日の下校バスで行われました。防災担当の先生からは、通学途中で地震が起きた際の注意事項についてお話がありました。

1. 保護者とバスのルートを事前に確認しておくこと
2. このエリアで起きた場合は、この辺りにいると目印を共有しておくこと
3. 地震が起きた場合には、一人で行動せず運転手さんと一緒に行動すること



新入生研修会



中学1年生、高校1年生の新入生研修会が4月28日に堂ノ浦キャンパス食堂で行われました。

最初に開校当時のビデオを見た後、塾長から講話がありました。

本校校門そばにある「ようこそ帰り 清く 正しく 遅しく」の石碑が明德のモットーであること。またその意味について説明がありました。これからの生活は「一刻生涯」。一刻一刻を大切に、自分のやるべきことに取り組んでいってくださいとエールを送りました。

2限目は校長の講話でした。

明德の建学精神、教育方針について、生徒たちに分かりやすく説明しました。

最後には、初代校長吉田幸雄先生の言葉「与えられた能力をフルに発揮し、ベストを尽くして使命感に燃える」を忘れず頑張ってくださいとお話がありました。



中学2年、3年「いのちのレッスン」

中学2年生、3年生の「いのちのレッスン」が4月28日、坂本龍馬記念館と桂浜で行われました。

坂本龍馬記念館では、学芸員さんから龍馬の生誕、大政奉還や薩長同盟など龍馬の人柄や事柄についてお話がありました。

講話の後は記念館を見学し、桂浜へ移動して龍馬像を眺めました。





国体ゴルフ 高知県代表二次選考会

特別国民体育大会ゴルフ競技高知県代表選手二次選考会が6月24日、25日に Kochi 黒潮カントリークラブで行われ、女子の部で卒業生の藤田藍さん(45期生)と6年C組の福住あいさんが県代表選手に選ばれました。
1位 藤田 藍 69 72
2位 福住あい 74 68



芋の苗植え

毎年恒例になっている芋作りが始まりました。5月26日、竜キャンパスの中学生全員で芋づくりのシート張りを行い、6月5日には、堂ノ浦キャンパス3年1組と竜キャンパスの中学生が苗を植え付けました。10月に収穫する芋は保護者にも送られます。



カナダから短期留学生

4月18日から6月18日まで、カナダリイエル地区の姉妹校から9人の短期留学生が来校しました。平日は、日本語の授業や日本文化を学び、休日には高知県の観光なども楽しみました。生徒たちは、「寮でいろんな国の人と共同生活できたことが楽しかった。良い思い出ができました」と話していました。



ソフトボール部全国私学3位

第10回全国私学男子ソフトボール大会が福井県敦賀市きらめきスタジアム他で5月4日から6日まで行われ、3位の成績を収めました。また、大岡奎翔君が優秀選手賞に選ばれました。



- 【予選リーグ】
7-0 愛産大三河
7-0 清風南海
- 【1部決勝トーナメント】
1回戦 2-0 上宮
準々決勝 3-1 滝川
準決勝 2-9 飛龍
3位決定戦 9-0 清風南海



海外姉妹校から先生方来校

4月18日、オーストラリアの姉妹校イマニエルアングリカンカレッジからトバイアス校長とバディ国際部長が来校し、4年英語コースの生徒に学校紹介や留学についてのお話をいただきました。生徒たちは、現地の写真を見て、説明を熱心に聞き入っていました。また翌日にはカナダ・マニトバ州リイエル教育区マクダーミッド国際部長が来校し、この日もカナダの紹介をいただきました。カナダのスポーツや食べ物、気候などの説明を聞いて驚いていました。また、生徒からたくさんの質問も出ていました。



テレビ高知「からふる」撮影



月曜から金曜日にテレビ高知で放送されているからふるのコーナー、「なんでも相談室」の撮影が6月15日に行われました。今回悩みを相談したのは中学生8人です。それぞれの悩みを木岡アナウンサーが優しく回答してくれるなど終始和やかな雰囲気での撮影となりました。この模様は、8月16日(水)と8月23日(水)の2週に分けて放送されます。
【相談者】田代恭太郎(1年2組/ソフトテニス)・松井知心(1年2組/美術部)・久野倫太郎(2年1組/中学野球部)・アナンド アディテヤ(2年2組/相撲部)・チン ハイウン(2年2組/美術部)・小松良奨(2年2組/サッカー)・中越仁菜(3年1組/卓球部)・木原悠真(3年1組/サッカー)



第60回英語劇公演「星の王子さま」

英語劇公演「星の王子さま」が6月23日、土佐市の「つな一で」で開催されました。世界で最も有名で愛読されている絵本を国際演劇部の生徒たちが素晴らしい英語力で熱演して、来場した400人を超える観客から大きな拍手が送られました。



Meitoku International Players Present
The Little Prince
by Antoine de Saint-Exupéry

入場無料

Antoine de Saint-Exupéry
Directed by John Tomkjan
明德義塾高等学校 英語劇公演
「星の王子さま」
アントワーヌ・サン・テグジュペリ作
編: キービン・バントック 監訳: ションドリキアン

日時: 2023年6月23日(金)
18:00開場 18:30開演
会場: 土佐市複合文化施設 つな一で フォーホール
TEL: 088-854-1211 Email: mq.internationaldrama@gmail.com

●ソフトテニス高知県中学春季大会

ソフトテニスの高知県中学春季大会が4月29日に大方西南大規模公園テニスコートで行われました。

優勝 福見優心・林寿李稀ペア
準優勝 柴崎雄斗・宮武伊織ペア
ベスト8 添田玲音・大平庚真ペア



●卓球高知県中学校学年別春季大会

卓球の高知県中学校学年別春季大会が4月30日に県民体育館で行われました。

【1年生】

(男子)	(女子)
優勝 柳本進太郎	優勝 村田愛心
準優勝 青井優空	準優勝 水元心愛
3位 阿部弘聖、新津臣哉	3位 市場小春

【2年生】

(男子)	(女子)
優勝 中川翔太	優勝 吉田璃乃
準優勝 長谷川琳	準優勝 駒瀬あゆみ
3位 西川颯人、福永旭	

【3年生】

(男子)	(女子)
優勝 伊藤快真	優勝 立川柚菜
	準優勝 石井理央
	3位 青井里穂、小橋萌加

●卓球県中学春季大会

卓球県中学春季大会が県民体育館で5月5日、6日に行われ、団体男女、個人男女ともに優勝しました。

団体 男子 優勝	女子 優勝
個人	
(男子)	(女子)
優勝 西川颯人	優勝 立川柚菜
準優勝 柳本進太郎	
3位 中川翔太、長谷川琳	3位 吉田璃乃・駒瀬あゆみ



●柔道高知県中学春季大会

柔道の県中学春季大会が4月23日、武道館で行われました。

団体 **優勝**
 個人
66キロ級 泥谷洋助 **優勝**
73キロ級 國澤天晴 **優勝**



●空手中学生選手権県予選

空手中学生選手権県予選(県少年少女大会)が5月5日に高知県立武道館で行われました。

団体組手 **女子優勝**
 団体形 **男子優勝**
 団体組手 **男子準優勝**
 個人形 **優勝** 伊東椿姫
 個人組手 **準優勝** 須江みゆう
 ※2位までの選手は、8月3日、4日に行われる全日本選手権の出場資格を得ました。



●相撲県中学春季大会

相撲県中学春季大会が5月7日に赤岡ドームで行われ、団体、個人ともに優勝を果たしました。

団体 **優勝**
 個人(無差別)
優勝 アナンド アディテヤ
準優勝 ナランバタ オーダム



●高知県ジュニアゴルフ選手権

高知県ジュニアゴルフ選手権が5月13日、スカイベイゴルフクラブで行われ、中学女子の部は森本寿叶さんが優勝しました。高校男子の部では石垣光琉くんはプレーオフで2位となりました。

【中学女子の部】
優勝 森本寿叶 71 (35 36)
 3位 久保川明愛 96 (49 47)

【中学男子の部】
 2位 星野泰輝 86 (41 45)
 6位 中杉桜大 94 (47 47)
 7位 高橋一心 95 (45 50)
 8位 岸本貴裕 102 (43 59)
 9位 瓦谷巴琉 111 (53 58)

【高校男子の部】
 2位 石垣光琉 73(36 37)
 5位 小田優斗 74(36 38)
 6位 美甘漣音 76(40 36)

【高校女子の部】
 3位 田中姫生 72(36 36)
 5位 福住あい 73(34 39)
 6位 田口夏鈴 76(38 38)
 8位 鈴木杏梨 77(39 38)



高知県女子アマチュアゴルフ選手権も同日同場所で行われ、卒業生の藤田藍さん(第45期生)と本校の三木逸子先生がプレーオフの末、藤田さんが優勝しました。